

御部ダムだより

第2号(平成24年度)

平成24年11月

浜田県土整備事務所

今年の洪水期を振り返って

今年の洪水期も、三隅川において大きな水害も無く無事に終わることができました。御部ダムでは3年ぶりに警報活動を行いましたのでその詳細についてお知らせします。

7月7日未明、梅雨前線による雨に伴い、ダム下流で急激な水位上昇が発生する恐れがあったため、警報活動を行いました。

この警報は川の中に入っておられる方や、これから川に近づこうとされる方に対して注意を呼びかけるものです。

警報はこの他に、ダムの上から水があふれ出す時に川沿いの方へ注意を呼びかけるものがあります。



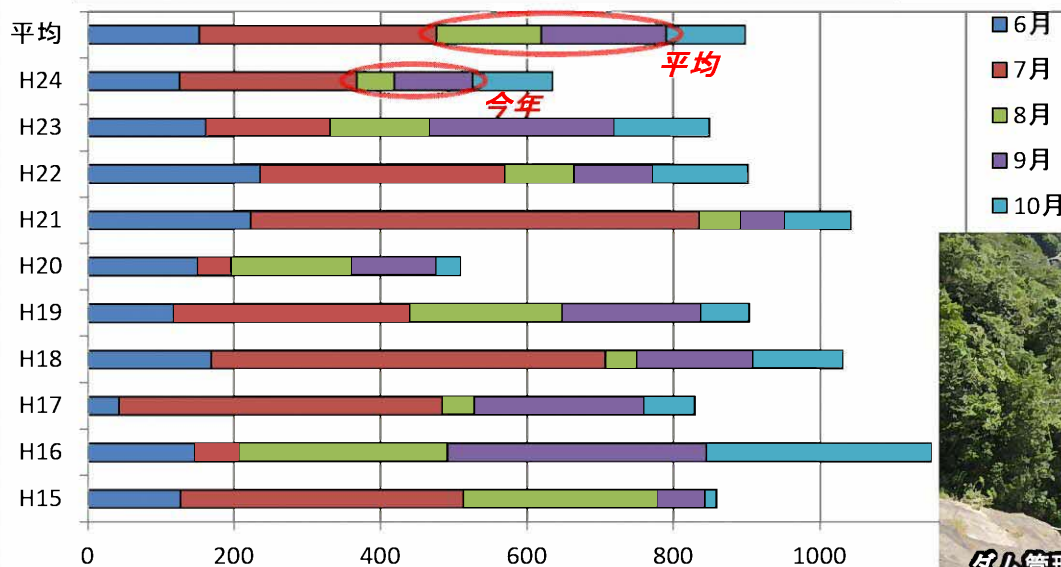
お願い

どちらの警報であるかは、スピーカ放送や防災行政無線により確認していただく必要があります。ダムのサイレンが聞こえたら、警報の内容に注意してください。

渇水に伴うダムからの放流状況

今年は8月、9月の降雨量が特に少なく、過去10年で洪水期の降雨量が2番目に少ない年となりました。これにより御部ダムの貯水位は最低水位89m(これ以上下げることのできない水位)を下回る見込みとなったため、9月13日から発電放流(1.02m³/s)を停止しました。そして貯水位が下がらないようにするため、流入量と同量の放流(10月の平均放流量:0.5m³/s)を行っています。(H24.11.1現在)

御部ダム雨量局 過去10年間の降水量(洪水期)



島根県浜田県土整備事務所
御部・大長見ダム管理グループ
〒697-0041 浜田市片庭町254
TEL: 0855-29-5678



御部ダム管理所

〒699-3217 浜田市三隅町黒沢2368-6
TEL: 0855-35-1421

隣の大長見ダムで出前講座を実施

10月24日、周布川の大長見ダムについて周布小学校の4年生を対象に出前講座を行いました。

ダムのことを子供たちにうまく伝えることができるか不安でしたが、模型実験を行うなどしてダムの役割や仕組みについて理解してもらえたのではないかと思います。下の写真はその時の様子です。



座学の様子。みんな真剣に聞いてくれました。



警報車でのマイク放送体験。
子供たちは興味津々でした。



写真で見えにくかったので、別撮りした模型です。
自分で言うのも何ですが、よくできています。



模型による流水実験。
ダムの洪水調節について分かってもらったかな？

出前講座を募集中

御部ダムでも、出前講座を募集しています。内容については下のメニューを考えておりますが、ご希望に応じて内容の変更は可能です。申込みにつきましては表面に記載の「御部・大長見ダム管理グループ」までご連絡をお願いします。

出前講座メニュー

- ①過去の水害について（58年災害、63年災害の動画があります。）
- ②ダムの役割と仕組みについて
- ③模型実験（洪水調節のしくみについて、実際に水を流す実験を行います。）

終わりに

今後も御部ダムの役割や仕組み、洪水時の行動などについて、より一層理解を深めていただけるようダムだよりを作成していきます。

ご意見・ご要望などありましたら、お気軽にお問い合わせください。